

夢見るままに、

待ちあせり

ケルシー先生が昔撃退した邪神が現代で超肉体化して女児になったけど、
頑張ってケルシー先生をあの手この手で電撃しようとする。
ケルシー先生がくそ雑魚化した圧倒的格下の邪神ロリ姫に負けるわけないだろ!!!というお話

成人向
同人
For ADULT ONLY
R-18
18歳未満の
購入・閲覧禁止

転載
禁止
Reprint is prohibited.
無断転載・複製・転写・
Web上へのアップロード禁止



前回までのあらすじ(読まなくても大丈夫な奴です。)

サルゴンに点在するロドスのセーフハウスの定期視察に訪れたケルシーと小隊は正気を失った住人やロドスセーフハウスの管理人、そして傭兵に襲撃される。

ケルシーの指揮の元これらを制圧。しかしMon3trが襲われた非戦闘員の隊員を救う為ケルシーのから離れた一瞬の隙に謎の少女によってケルシーが無力化され、攫われる。

即座に逃走を図る少女を追いすがるも暴徒と化した敵に阻まれ、またMon3trも事前にケルシーに命令された「手加減」の為に敵を撃破しての追跡に失敗。

ケルシーの行方が知れなくなり既に数時間が経過していた。

調査の中、このセーフハウスの管理人の一族はかつてケルシーがこの地で猛威を振るった邪神を封印しその封印の管理と監視を代々任されていたことを知る。

また定期視察の目的には邪神の封印のチェックも含まれていたようだ。

ケルシーを攫った謎の少女の目的とは…?



ああ、この再開をどれほど
待ちわびた事だろう！
冷たい死廟の中で
幾度となく夢にまで見た君…！

ぐんぐんぐんぐん！！



ギョッ



そう！
私だよ！

デェェ

数百年ぶりだねえケルシー！！
時を経てなお君は美しい！！

デェェ



：確かに君の言う通り
私がかつてこのサルゴンの地で
『快樂』と呼ばれる
危険な邪神を封印した。
だが君のような
幼い子供ではなかったはずだ。



そりゃあ死ぬ寸前まで
ボコボコにされた上に
数百年も狭い棺に
押し込められてたんだから
あの時民草から吸い取った力も
ほぼスツカラカンよ。

ま！
おかげで
ガワがこんなロリに
なっちゃったけど
色々やりやすかったし！



封印を盗掘者どもが
壊してくれたから
お礼に管理人と
町の住民に盗掘者ともども
私の『毒』で虜にして

あとは君から
M o n 3 t e r が
離れた隙を見計らって
連れ去った。

君が定期的に封印を
チェックしに来てることが
分かったから
町の外の傭兵共を雇って
騒ぎを起こさせて



つまり…



ここは砂に沈んだ
私の神殿のさらに最奥部。
君のお仲間も
あのMonsterにだって
簡単には見つけ出せない。



二人っきりで
誰にも邪魔されないってこと
思い出話でもどう? ♡



：分からないな。
お前の目的は私への復讐か?
あるいは
この地で再び邪神として君臨を—

違う違う、そんなの興味ないよ!
私の目的はあの日手に入れ損なった
この世でただ一つ輝く至宝—
ケルシー、君を今度こそ
心から私に隷属させることだよ ♡



寝てる間に私の『毒』を
飲ませておいたから
疼くでしょ?
これからもっとキいてくるよお。

んふふ、どうどう?
この感じ
エッチなこと自体
ご無沙汰って感じかな?



体の感度が異常に上昇している
思考が蕩けて、腹部が熱い
…こんな軽い前戯で
達してしまいそうに
なっている…

『快樂の邪神』の
人を狂わせる淫毒



ツツ?!!! 絶頂の余韻が終わらない……っ?!
体から何かを
吸われていくような感覚と呼応するように
薄く延ばされた快楽が
いつまでも背筋と乳首と……っ♡
ヴァギナに張り付い……ッて……ッ♡
ツツ♡♡絶頂から降りてこれない……ッ♡

やっぱり!!
想像した通り
ケルシーは美味しいねえ。



……
『**理性吸収**』ツ
リーズンドレイン



ご名答!
人間から知性と正気を奪い
墮落せしめる我が権能の一!
どんな屈強な勇者も
いざれ自分から私に全てを
差し出すようになる



パカッ

ちなみにイツちやうと
もっと多くの理性を
吐き出しちやうし
『毒』にどんどん
精神が負けちやうぞう

はい
ハッハッハッハッ
何回かして
足開きでー♡



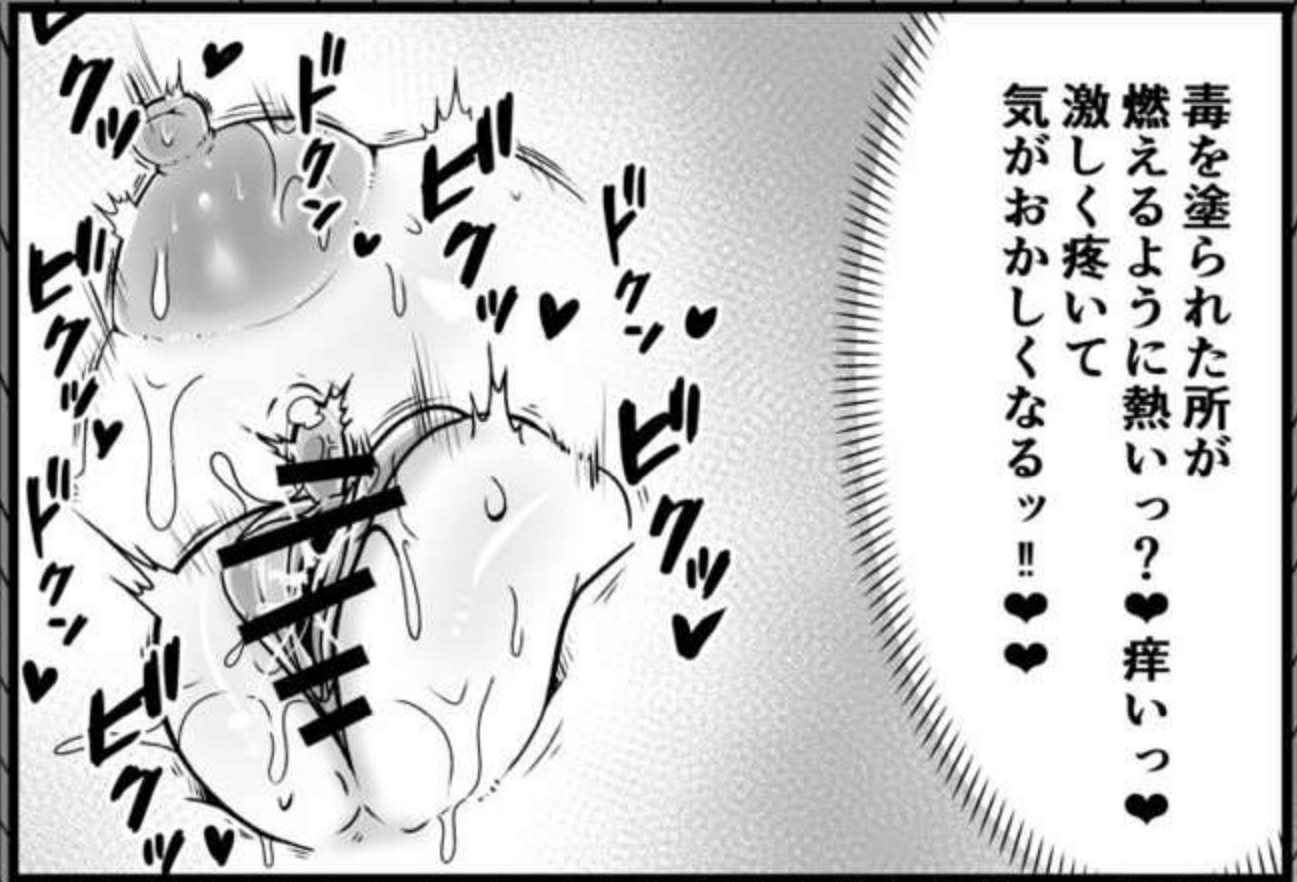
そしてそれに比例して
君はもっと快楽に素直になる代わりに
快楽欲しさに私みたいな脆弱な子供にも
逆らえなくなっちやう程弱くなっていく。
私も理性を糧に失った権能を
一つ、一つ、取り戻していくのさ♪







触れられてもいないのに
まるでずっと絶頂寸前で
愛撫を続けられているような……!



毒を塗られた所が
燃えるように熱いっ?♡痒いっ♡
激しく疼いて
気がおかしくなるツ!!♡♡



それじゃあ簡単に
堕ちないように
頑張っつてねケルシー♡



ぐわっ

お前はっ…既に私に
勝った気でいるようだが…
それは、間違いだ。
確かに私はお前の巢に連れ込まれ
碌な抵抗も出来ず翻られる状態に、ある

だがこの程度の事で私の心は折れない。
地上にいる彼らも時間さえあれば
必ずここを見つけて出せる。
セクメト、古き邪神の二柱。
お前の目論見通りには、ならない。

はーっ

はーっ

徹底的に躑けをしてあげる。
壊れないでね？

…そーみたいだね。
じゃ、再会を祝した
イチャラブタイムは
これくらいにして

ここからは君が
自分から私に
身も心も捧げるように

キッ!!

ぐい

ブル♡

びびり

びびり

ぐんぐん

トロン



腸内に毒が入ってきてくるッ? ♡
ふ、腹部が溶けッ!? ♡ ♡



ご主人様の舌を
噛み切ろうとする
悪い猫ちゃんには折檻♪



わーすごい!
妊娠したみたい ♡



いやー…ケルシーが可愛すぎて
やりすぎちゃったな…(反省)
これ3時間絶対過ぎてるな？
まあいい感じに出来上がったし
結果オーライ！

結構理性も
吸いまくったし
あれも使えるように
なったかな？

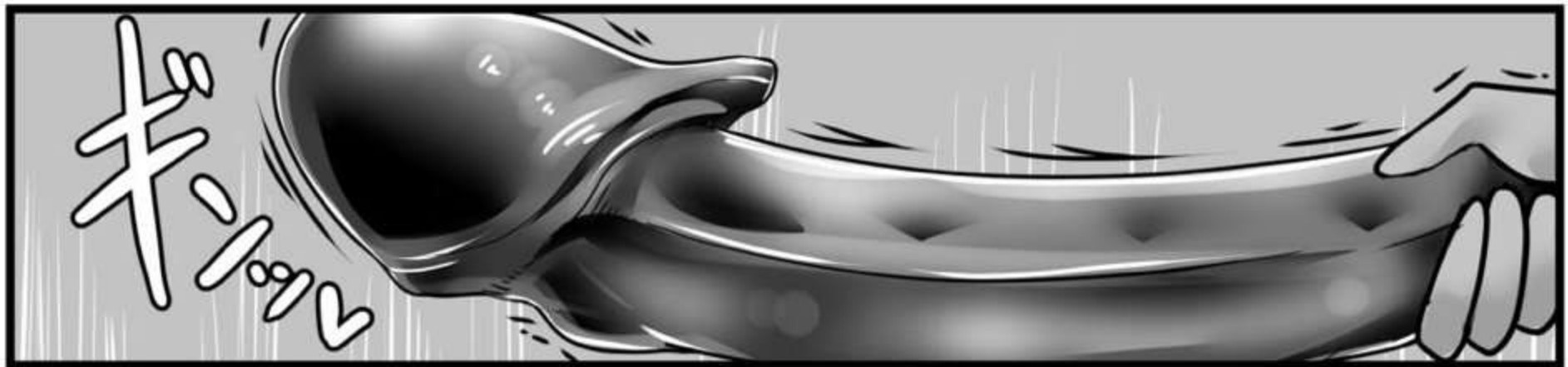




うんうん、いい感じに
固まってるねえ♡
これならあれが出来そう♪

ほか

ほか

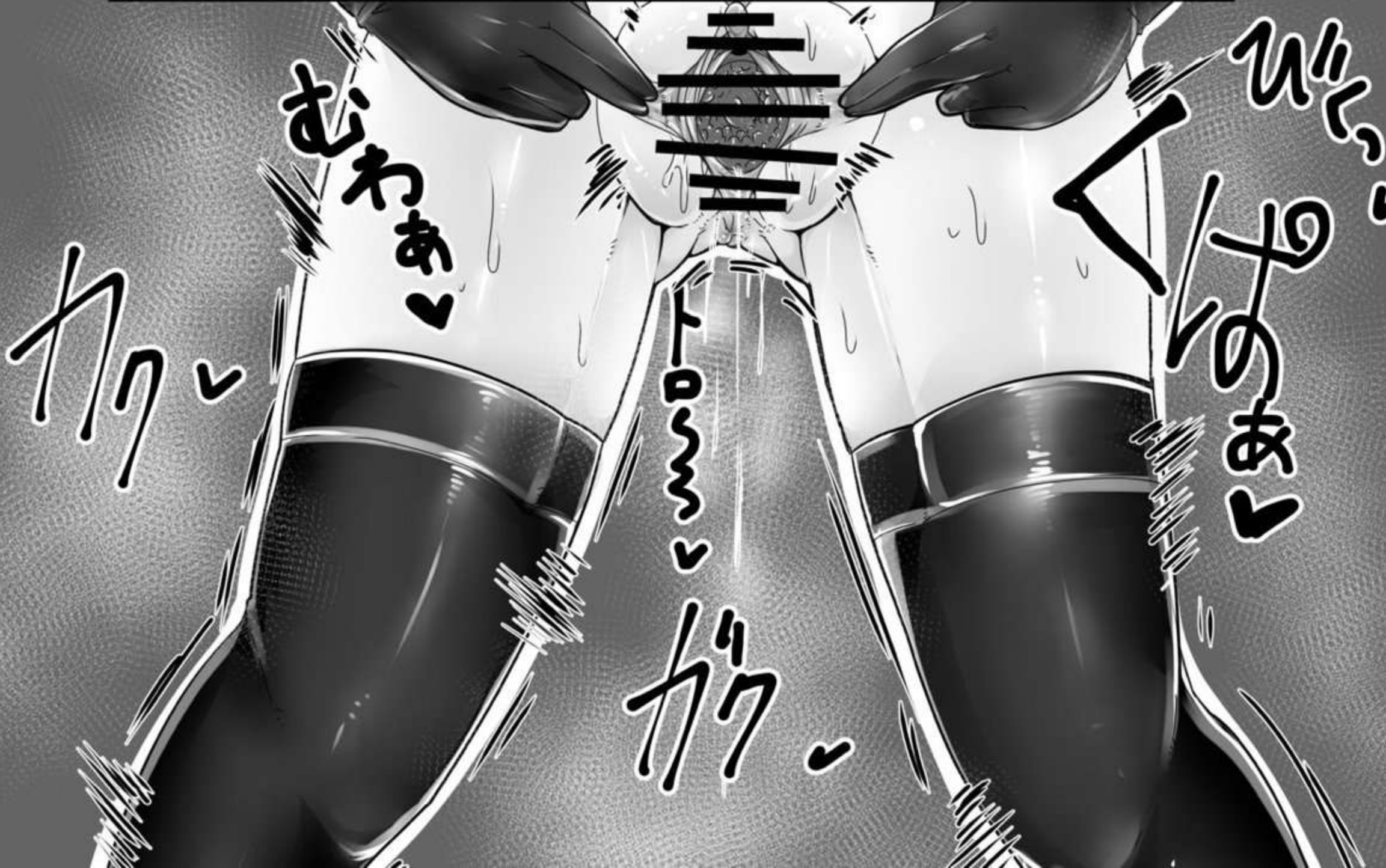


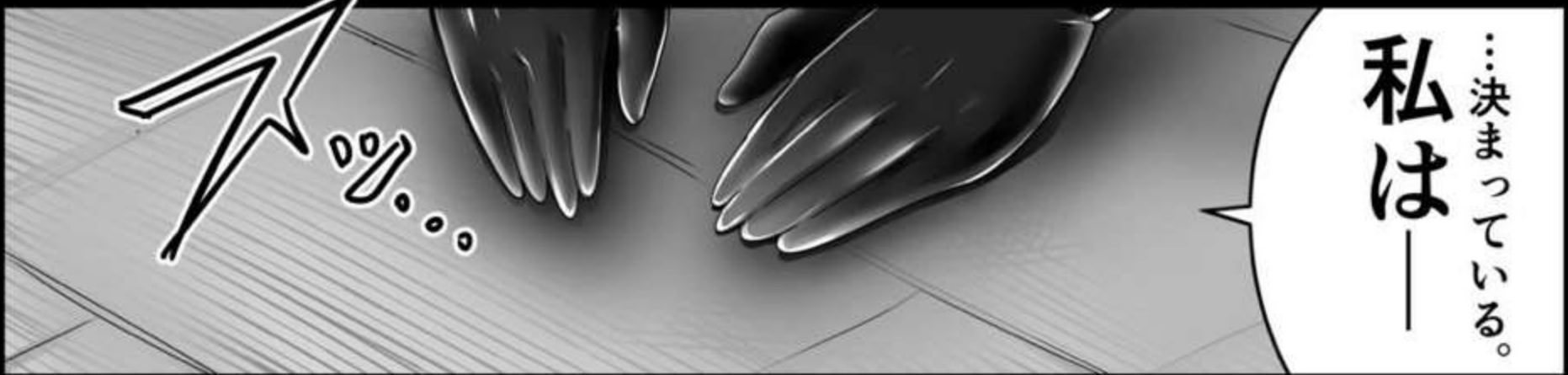
あはっ!
いい顔になってきたねえ





ケルシー、
おねだりして♡







ほら、自分で舌絡ませて
私に理性を献上して？

ほーら、ケルシー♥
もうすぐ腹内に毒を大量にぶちまけて
そしたらもう二度と私に逆らえないように
魂レベルで墮としてあげるからね？♥

ダメダメ、
まだ人語喋れてるでしょ？
もつと脳みそ
ぶっ壊してあげる♥

れも、もう
りひえい
残ってな

ほらほら♥情けないアへ顔
晒しないで数百年前みたいに
私を倒さなくていいのかなあ

無理にわんわんのまま
絶対かたがな

はーい、はーい、はーい、はーい
おまん様の毒で二度と外れない♥
首輪をつけておきなさい♥
イカ、今までも一番気持ちいいのは、おまん様の毒で二度と外れない♥



あとがきという名の蛇足

この後毒による支配が時間経過という代謝で解毒されることを
すっかり忘れていた邪神ロリは正気に戻ったケルシーに
ぼこぼこにされるわロドス内の職務で忙殺されるわで
酷い目に合うがロドスの一員としてケルシーを最期まで支えたそうな…
(蛇足終わり)

こんにちは!初めましての方は初めまして!
いつもFANBOXやskebでご支援頂いたりTwitterやpixivで
フォローして下さっている方はいつもありがとうございます!
狸の皮です!

狸の皮名義で出した初めての同人誌(電子書籍)ですが大丈夫かなあ?!
これ色々間違っていない?間違っていたらごめんなさいね!
今回はモブ×ケルシー先生だしちょっと時間の余裕がなかったので
やりたいことの半分も出来なかったのが心残りですが
コミケまでに完成させるという目標がかなったので私的にはセーフです!!
内容はちょっと人を選ぶ感じになってしまいましたが気に入って頂けると嬉しいです…!
ケルシー先生はクールで完璧美人って感じなのでこう、誰も
めちゃくちゃ乱れてるのは描いてくれないなと思ってじゃあもう自分で描くしかねえ!と思って(
ついでに年上の女性が年下の女の子にめちゃくちゃにされるのが好きなのでこうなりました(
皆もケルシー先生のエッチな絵を描いてくれえ…!!

今年は非常に多忙でしたが支援者の皆様やいつも見守っていて下さる皆様のおかげで
去年より上手くなれた…なれ…なってると思いたい!!(
2022年はもっとたくさん絵を描いて人気が出て
そのうちソシャゲのキャラとか描かせてもらえるように頑張りますので
どうか今後も応援よろしくお願いします!
次回本は多分、普通におくつけき男に犯される本とか書くと思う(誰がとは言わない)
それでは!今年もたくさんのご支援にコメントやいいねにフォロー
本当にありがとうございました!
来年もよろしくお願いします!よいお年を!ハッピーアニューイヤー!!
アークナイツをすこれ!

■奥付■

サークル:たぬきカンパニー

描いた人:狸の皮

pixiv:<https://www.pixiv.net/users/14157974>

FANBOX:<https://tanukikannpani.fanbox.cc/>

Twitter:<https://twitter.com/ukiyoennzinn>

skeb:<https://skeb.jp/@ukiyoennzinn>

発行日:2021年 12月 30日

無断転載・引用を禁ず

18歳未満の購入・閲覧を禁ず

連絡先:tanukinokawa0214@yahoo.co.jp



たぬきカンパニ